

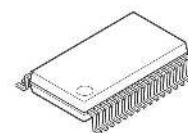
## eala/eala Stereo Expander/FIR Filter 搭載DSP

## ■ 概要

NJU26040-18Aは、新日本無線オリジナルサラウンドであるeala/eala Rebirth, eala Stereo Expander、および、128tapのFIRフィルタを搭載したオーディオDSPです。

NJU26040-18Aは、CD/DVD、AM/FMラジオ、TVなどの様々なステレオ音源を、新日本無線独自の音響技術 "eala" によって、ナチュラルで広がりのあるサラウンドサウンドを提供します。また、FIRフィルタを用いた補正技術 "LPC" により小型スピーカシステムでもリッチ・サウンドを実現します。

## パッケージ



NJU26040V-18A

## ■ 特徴

## - ソフトウェア

- eala  
センター定位を重視した自然な立体音場を実現する新日本無線独自のステレオサラウンド機能
- eala Rebirth  
圧縮され劣化した音声の音質を改善する新日本無線独自の圧縮音源音質補正機能
- eala Stereo Expander  
狭間隔スピーカで驚異的なステレオ音像を実現する新日本無線独自のステレオエンハンス機能
- Linear Phase Correction (LPC)  
FIRフィルタ(128tap / ステレオ)を用いて音の明瞭・定位を改善する新日本無線独自のスピーカ特性補正機能
- HPF  
ステレオ入力信号対し、1次HPFを適用しカットオフ周波数を設定可能
- パッシブマトリックス6チャンネル出力  
ステレオ入力信号から、簡易的にC/SW, Ls/Rs 信号を作り出す機能 (SW出力はC-chと同じ信号出力)
- インプットトリマー / マスターボリューム  
ステレオ入力信号対しトリマ処理を行うとともに、全出力チャンネルに対し音量調整処理を行う機能
- ウォッチドッククロック出力  
信号処理を行っている間に、DSP外部に対し特定周期でクロック出力する機能

## - ハードウェア

- 24ビット固定小数点デジタルシグナルプロセッサ
- 外部クロック周波数 : 最大38MHz
- デジタルオーディオインターフェース : 入力3ポート、出力2ポート
- デジタルオーディオフォーマット : I<sup>2</sup>S 24bit、左詰め、右詰め 対応、BCK : 32fs/64fs
- マスター / スレーブ対応 : マスター時、MCK : 1/2 fclk、1/3 fck  
例) fclk=768fs 時、MCK=384fs(1/2) または 256fs(1/3)
- 電源電圧 : 3.3V
- 入力専用端子許容電圧 : 5Vトレラント
- パッケージ : SSOP32 (鉛フリー対応)
- ホストインターフェース : I<sup>2</sup>Cバスインターフェース (standard-mode/100kbps, Fast-mode/400kbps)  
: シリアルインターフェース  
(4線式 : クロック、スレーブセレクト、入力データ、出力データ)

\*ハードウェア仕様の詳細については「NJU26040 シリーズ共通データシート」を参照願います。

# NJU26040-18A

## NJU26040-18A ブロック図

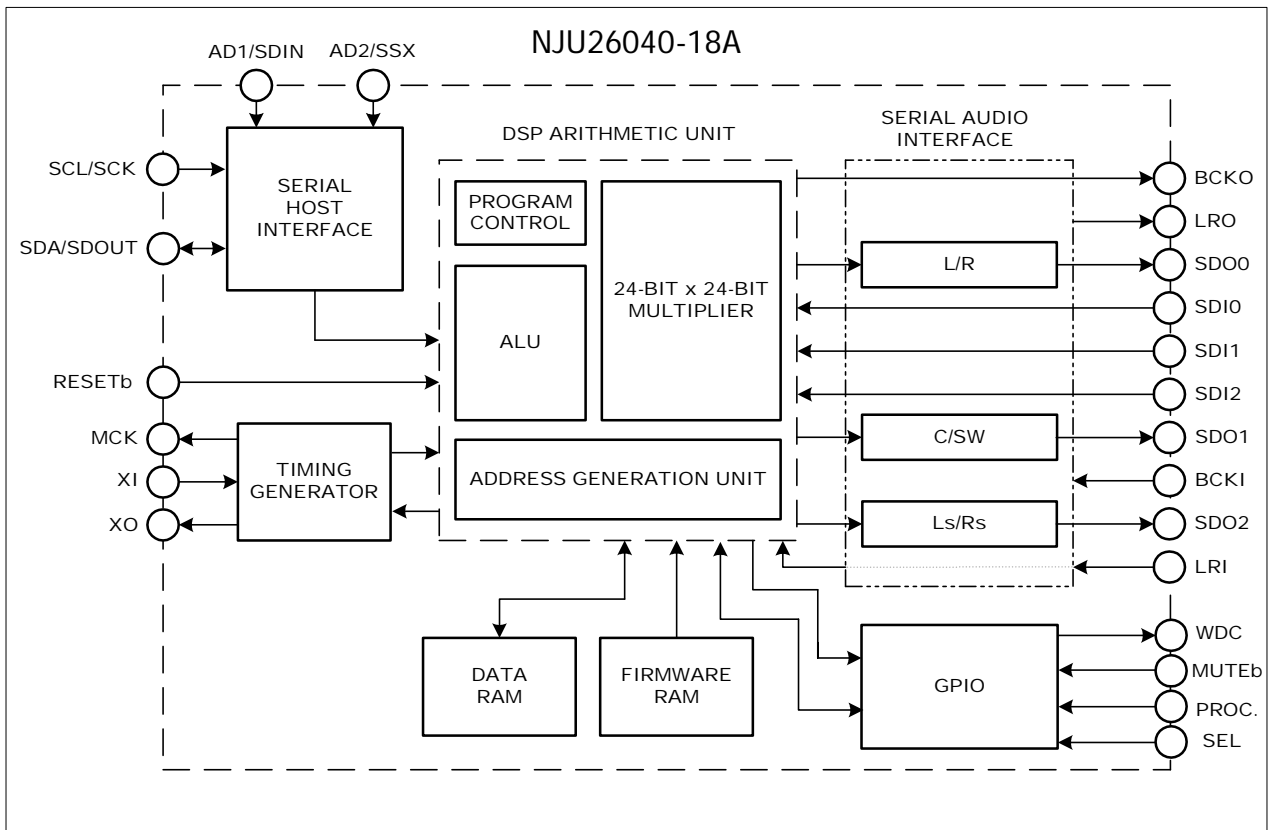


図1 NJU26040-18A ハードウェアブロック図

## 機能ブロック

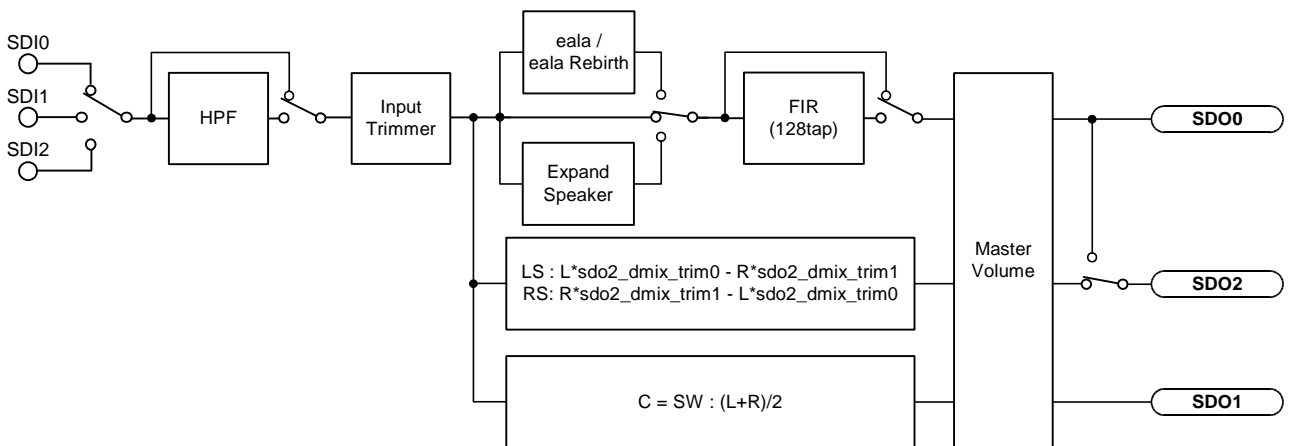


図2 NJU26040-18A機能ブロック図

## 端子配列

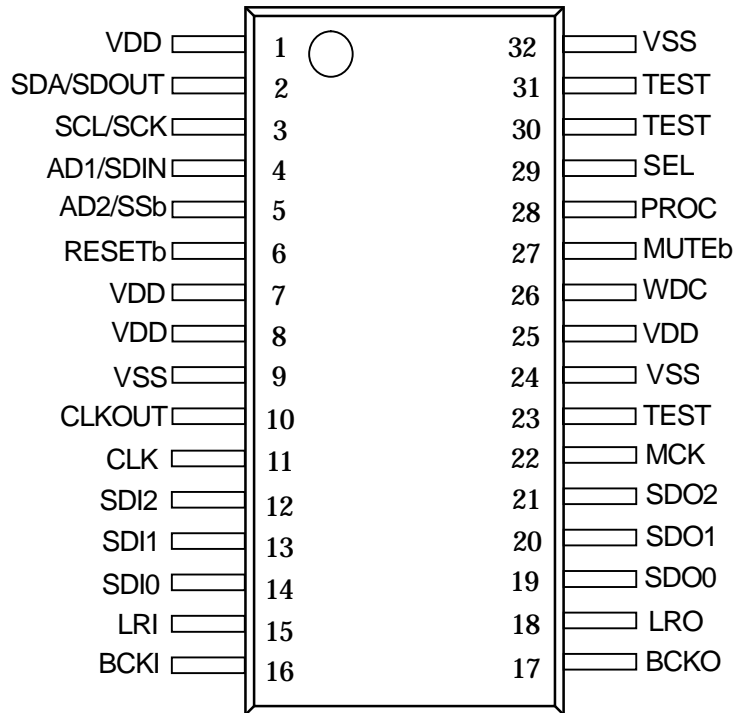


図3 端子配列

# NJU26040-18A

## 端子説明

表1 端子説明

| Pin No.     | Symbol      | I/O   | Description   |
|-------------|-------------|-------|---|
| 1, 7, 8, 25 | VDD         | -     | 内部電源 3.3V   |
| 2           | SDA / SDOUT | OD    | シリアルデータ入出力(I <sup>2</sup> C) / シリアルデータ出力(シリアル4線式)<br>オープンドレイン入出力端子です。I <sup>2</sup> Cバス/シリアル4線式モード共にプルアップ抵抗が必要です。 |
| 3           | SCL / SCK   | I     | シリアルクロック (I <sup>2</sup> C) / シリアルクロック (シリアル4線式)  |
| 4           | AD1 / SDIN  | I     | I <sup>2</sup> C アドレス選択 1 (I <sup>2</sup> C) / シリアルデータ入力 (シリアル4線式)  |
| 5           | AD2 / SSb   | I     | I <sup>2</sup> C アドレス選択 2 (I <sup>2</sup> C) / スレーブセレクト (シリアル4線式)   |
| 6           | RESETb      | I     | リセット (RESETb='Low' で DSP リセット)  |
| 9, 24, 32   | VSS         | -     | 内部電源 GND  |
| 10          | CLKOUT      | O     | 水晶発振用クロック出力端子   |
| 11          | CLK         | I     | 水晶発振用クロック入力端子   |
| 12          | SDI2        | I     | オーディオデータ入力 2  |
| 13          | SDI1        | I     | オーディオデータ入力 1  |
| 14          | SDI0        | I     | オーディオデータ入力 0  |
| 15          | LRI         | I     | LR クロック入力   |
| 16          | BCKI        | I     | ビットクロック入力   |
| 17          | BCKO        | O     | ビットクロック出力   |
| 18          | LRO         | O     | LR クロック出力   |
| 19          | SDO0        | O     | オーディオデータ出力 0  |
| 20          | SDO1        | O     | オーディオデータ出力 1  |
| 21          | SDO2        | O     | オーディオデータ出力 2  |
| 22          | MCK         | O     | マスタークロック出力  |
| 23, 30, 31  | TEST        | I-    | テスト端子 (通常使用時 : VSS に接続)   |
| 26          | WDC         | I/O + | ウォッチドッグタイマ用クロック出力端子 (オープンドレイン出力)  |
| 27          | MUTEb       | I/O - | リセット後のマスタボリューム状態 ("1":0dB / "0":ミュート)   |
| 28          | PROC        | I/O - | リセット後の信号処理 ("1":通常処理 / "0":処理しないでコマンド待ち)  |
| 29          | SEL         | I/O - | ホストインターフェース選択 ("1":シリアル(4線式) / "0":I <sup>2</sup> Cバス)  |

- \* I : 入力端子  
 I- : 入力プルダウン付き端子  
 O : 出力端子  
 OD : オープンドレイン入出力端子 (プルアップ抵抗を接続してください。)  
 I/O + : 入出力プルアップ付き端子  
 I/O - : 入出力プルダウン付き端子

## デジタルオーディオインターフェース

デジタルオーディオフォーマットは、I<sup>2</sup>S、MSB ファースト左詰め、及び MSB ファースト右詰りをサポートしています。NJU26040-18A は、3 ポートのオーディオデータ入力端子(SDI0~1)と、3 ポートのオーディオデータ出力端子(SDO0~2)を備えています。入出力信号の割り当ては表2,表3 及び図2 機能ブロック図を参照してください。オーディオデータ入力フォーマットと出力フォーマットは同じ形式になります。

**表2 オーディオデータ入力**

| No. | 端子名  | 機能           |
|-----|------|--------------|
| 14  | SDI0 | 音声データ入力0 L/R |
| 13  | SDI1 | 音声データ入力1 L/R |
| 12  | SDI2 | 音声データ入力2 L/R |

**表3 オーディオデータ出力**

| No. | 端子名  | 機能           |
|-----|------|--------------|
| 19  | SDO0 | 音声データ出力0 L/R |
| 20  | SDO1 | 音声データ出力1 L/R |
| 21  | SDO2 | 音声データ出力2 L/R |

## ホストインターフェース

NJU26040-18A 制御インターフェースは、I<sup>2</sup>C バスインターフェース、あるいは、シリアルインターフェース(4 線式) です。リセット解除時、I<sup>2</sup>C バスインターフェースで制御する場合は、SEL1 端子を "L" に設定します。シリアルインターフェース(4 線式)で制御する場合は、SEL1 端子を "H" に設定(表4)します。ホストインターフェース端子機能は、表5の通りです。

データ転送は共に 8 ビット(1 バイト)単位です。ホストコントローラからクロック(SCL/SCK)に同期してデータが転送されます。

**表4 ホストインターフェース設定**

| Pin No. | 端子名 | 設定 | ホストインターフェース                 |
|---------|-----|----|-----------------------------|
| 29      | SEL | L  | I <sup>2</sup> C バスインターフェース |
|         |     | H  | シリアルインターフェース(4 線式)          |

**表5 ホストインターフェース端子機能**

| Pin No. | 端子名<br>(I <sup>2</sup> C バス/ Serial) | I <sup>2</sup> C バスインターフェース<br>選択時 | シリアルインターフェース<br>(4 線式)選択時 |
|---------|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------|
| 2       | SDA/ SDOOUT *                        | シリアルデータ入出力<br>(オープンドレイン入出力)        | シリアルデータ出力<br>(オープンドレイン出力) |
| 3       | SCL/ SCK *                           | シリアルクロック                           | シリアルクロック                  |
| 4       | AD1/ SDIN *                          | I <sup>2</sup> C バスアドレス選択 Bit1     | シリアルデータ入力                 |
| 5       | AD2/ SSb *                           | I <sup>2</sup> C バスアドレス選択 Bit2     | スレーブセレクト                  |

**注意:** SDA/ SDOOUT 端子はオープンドレイン入出力端子となります。プルアップ抵抗が必要です。

\* NJU26040-18A に電源が投入されている場合、これらの端子は全て 5V トレラントです。

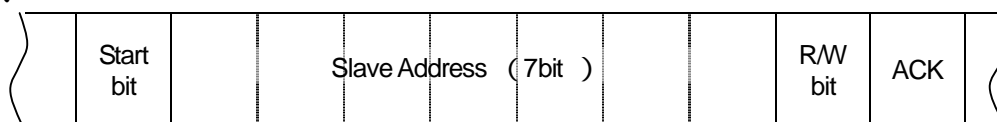
## I<sup>2</sup>C バスインターフェース

I<sup>2</sup>C バスインターフェースでは、データを SDA 端子に、クロックを SCL 端子に転送します。SDA 端子はオープンドレイン構造で、外部にプルアップ抵抗が必要です。AD1,AD2 端子 (Pin No.4,5) は、7 ビットからなるスレーブアドレスの下位 2 ビットの設定に用います。アドレスは、表 6 に示す固定値と AD1/AD2 端子により、4 種類設定できます。

表 6 I<sup>2</sup>C バスインターフェーススレーブアドレス設定

| 固定値  |      |      |      |      | AD2 端子 | AD1 端子 | R/W  |
|------|------|------|------|------|--------|--------|------|
| bit7 | bit6 | bit5 | bit4 | bit3 | bit2   | bit1   | bit0 |
| 0    | 0    | 1    | 1    | 1    | 0      | 0      | R/W  |
| 0    | 0    | 1    | 1    | 1    | 0      | 1      |      |
| 0    | 0    | 1    | 1    | 1    | 1      | 0      |      |
| 0    | 0    | 1    | 1    | 1    | 1      | 1      |      |

データ形式



AD1 端子、AD2 端子において“0”=“L”、“1”=“H”

**注意：** 転送速度は“Standard-Mode(100kbps)”および“Fast-Mode(400kbps)”対応です。

## シリアルインターフェース(4 線式)

シリアルインターフェース(4 線式)回路は、スレーブセレクト端子 (SSb 端子) が“L”レベルで動作状態となります。SDIN 端子に入力されるデータは、SCK 端子の立ち上がりに同期して DSP に読み込まれます。SDOUT 端子からのデータは、SSb 端子の立ち下がりに同期して bit7 が出力され、次に SCK 端子の立ち下りに同期して bit6, bit5, bit4, bit3, bit2, bit1, bit0 が出力されます。入出力共に MSB ファーストで通信されます。(図 4)

通信は 8bit 単位です。8bit に満たなかった場合や 8bit を超えた場合は、正しく動作しません。SDOUT 端子は、SSb 端子が“H”のときにハイインピーダンス(Hi-Z)状態、SSb 端子が“L”のときにオープンドレイン出力となります。そのため、端子がフローティングにならないようにプルアップ抵抗が必要です。

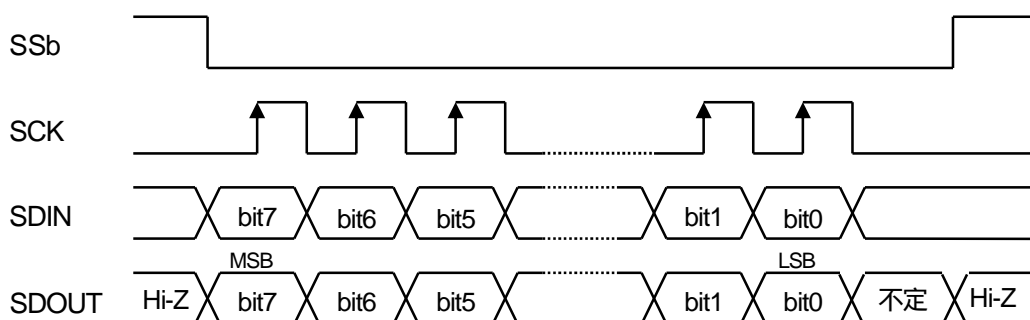


図 4 シリアルインターフェース(4 線式)タイミング

**注意：** クロックが 8 クロックに満たない場合、8 クロック以上連続した場合にも正常にデータは読み込まれません。

## 端子設定

NJU26040-18A はリセット解除後の動作を PROC、MUTEb 端子により設定することができます。(表7)  
 PROC、MUTEb 端子は、抵抗 (推奨 3.3k ) を介して VDDIO または VSSIO に接続してください。

**表7 機能設定ピン**

| Pin No. | 端子名   | 設定 | 機能  |
|---------|-------|----|---|
| 28      | PROC  | H  | リセット解除後、デフォルト設定に従って信号処理を行います。                         |
|         |       | L  | リセット解除後、信号処理を行いません。信号処理の開始には、専用のスタートコマンドを送信する必要があります。 |
| 27      | MUTEb | H  | リセット解除後、マスターボリュームを 0dB に設定します。                        |
|         |       | L  | リセット解除後、マスターボリュームをミュートに設定します。                         |

## ウォッチドッグクロック出力

NJU26040-18A は、ウォッチドッグクロック出力(WDC 端子 : 26pin)を持っています。音声信号処理の過程で、一定の間隔で WDC 端子をトグル出力(Low/High)することにより、外部にファームウェアが動作していることを通知します。この出力と外部 Watch Dog 監視 IC やマイコン等の端子でモニタすることで、異常状態を検出することができます。WDC 端子のトグル出力する周期は、およそ表 8 のようになります。

**表8 WDC 端子出力周期**

|                      |
|----------------------|
| WDC 端子出力(Low/High)周期 |
| 128ms                |

**注意** : ウォッチドッグクロック出力は、オーディオインターフェースの信号を元に制御しているため、音声信号の入出力が停止することにより、オーディオインターフェースが停止すると 出力なくなります。

# NJU26040-18A

## NJU26040-18A コマンド一覧

表9 NJU26040-18A コマンド表

| No. | コマンド                                |
|-----|-------------------------------------|
| 1   | Set Task Command                    |
| 2   | System Status Configuration Command |
| 3   | Sampling Rate Configuration Command |
| 4   | Smooth Control Setup Command        |
| 5   | Input Trimmer Setup Command         |
| 6   | Master Volume Setup Command         |
| 7   | Ls/Rs Downmix Trim Setup Command    |
| 8   | eala Setup Command                  |

| No. | コマンド                                |
|-----|-------------------------------------|
| 9   | Input HPF Setup Command             |
| 10  | L-channel Coefficient Setup Command |
| 11  | R-channel Coefficient Setup Command |
| 12  | Software Reset Command              |
| 13  | Version Number Command              |
| 14  | Revision Number Command             |
| 15  | Start Command                       |
| 16  | No Operation Command                |

NJU26040-18A のコマンドの詳細については別途、ご請求下さい。

<注意事項>

このデータブックの掲載内容の正確さには万全を期しておりますが、掲載内容について何らかの法的な保証を行うものではありません。とくに応用回路については、製品の代表的な応用例を説明するためのものです。また、工業所有権その他の権利の実施権の許諾を伴うものではなく、第三者の権利を侵害しないことを保証するものではありません。